

様式 4

<p style="text-align: center;">令和 4 年度第 2 回</p> <p style="text-align: center;">富士見市環境審議会議事録</p>						
日 時	令和 4 年 9 月 1 6 日 (金)		開会 午前 1 0 時 閉会 午前 1 2 時			
場 所	総合体育館 3 階 多目的室					
出席者	委 員	須田昭 委員	木内芳弘 委員	中村章 委員	星野弘志 委員	守山義一 委員
		○	○	○	○	○
		柳田政男 委員	五十嵐 正幸委員	関知枝 委員	細田英夫 委員	水村誠 委員
		○	○	○	○	○
		高橋満 委員	戸塚隆久 委員	細田皓一 委員	田中聰行 委員	
		欠	欠	○	○	
	事 務 局	環境課 大堀課長、大橋副課長、森田主査、鈴木主査、 神谷主任 環境総合研究所 寺山、長崎、小平				
公開・ 非公開	公開 (傍聴者なし)					
議 題	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1) 第 2 次富士見市環境基本計画の進捗状況について (2) 第 3 次富士見市環境基本計画骨子 (案) について 4 その他 5 閉会					

議 事 内 容

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 第2次富士見市環境基本計画の進捗状況について

【配布資料】

- ・ 第2回富士見市環境審議会資料について
- ・ 第2次富士見市環境基本計画進捗調査票
- ・ 第2次富士見市環境基本計画進捗評価一覧
- ・ 第2次計画改定時の進捗評価結果まとめ

資料に基づき第2次富士見市環境基本計画の進捗評価について事務局より説明。

《委員からの質問・意見》

〈委員〉・進捗状況調査結果をみると年度ごとの目標が無く、達成度について把握しにくい。今後は単年度で目標を掲げて、その都度評価を行った方がいいのではないか。

〈委員〉・私も同じ意見であるが、単年度で目標を数値化すると、職員の異動等で引き継ぎが上手くいかない可能性がある。資料の取組項目が細かく、把握しにくいいため、もっと端的にまとめられないか。

〈委員〉・とりまとめている環境課以外の部署は課題・問題点の出し方に努力を感じない。本来、富士見市全体で協力していかなければいけないはずである。具体的な話をすると、びん沼自然公園の維持管理について自然環境への配慮が足りていない。市の担当課から議会説明、市民説明が無い。事実として審議会に報告しておく。

- ・ 市民大学の行事で湧水の探索を2回行った。市民宅にある湧水探索を行い、ホトケドジョウの説明をした。湧水の場所だけでなく、湧水を維持・管理していくこと、湧水周辺の保全を周知していくことが大切ではないか。

〈委員〉・資料1-2は進捗状況ではないため、評価結果として理解しにくい。「検討する」と記載しているもののなかには現行計画で実施している項目がある。「実施する」と掲載したが、進んでいない項目は「今後も継続」となる。そうした整理の仕方が分かりやすいのではないか。評価をした上で次の段階が「継続、検討、改善、達成、廃止」となると思う。

〈委員〉・No.2-1、2-2にある社寺林は神社仏閣が存在する限り維持されるが、斜面林や緑地などの民有地については相続問題などもあり減少傾向にある。保存樹林については気温の上昇に伴い、枝が太くなり、落ち葉対策などに苦慮しているケースがある。剪定等を含めて樹林の維持管理についての補助状況、拡充等について確認したい。また、No.5-1、5-2にある緑地保全基金の積立金額の減少についても確認したい。

- ・ No.8-12の環境美化について体制づくりが大切な取組となっている。見

た目のきれいさだけでなく、職場環境や公共空間のきれいさ、書類の申請等も含めて職員や市民に対して理解を深めていただくような取組を推進する必要があると思うので、廃止ではなく継続の方向で議論していただきたい。

〈事務局〉・緑地保全基金の積立金額、保存樹林への補助金額などについては担当課に確認する。

〈委員〉・樹木補助については次期計画にも反映してもらいたい。

〈委員〉・緑地保全基金の積立は、平成10年は1億円の積み立てであったのに、令和3年は54万9千円となっており寂しい。環境保全の見地から審議会委員の意見として申し伝えていただきたい。

〈委員〉・No.8-8 空き家の問題について、空き家の対策は行っていると思うが、これから空き家が増えるためキリがない。現時点ではどの程度空き家があって、どこまで達成しようとしているかなどの目標を掲げ、取組の評価に繋げてほしい。

〈事務局〉・現行計画を策定した10年前は総合計画を含めて市の全体施策として数値目標を掲げていなかった。その後、総合計画では数値目標を多く導入するという取組によって評価や目標を掲げている。個別計画についても目標の数値化の流れがあるため、次期計画ではできるかぎり反映させていきたい。

〈委員〉・ごみ収集についても、県内最少を誇っていて素晴らしい。しかし、これまでの住民がいなくなったらどうなるのだろう。社会情勢の変化をどのように加味していくかで議論できればと思う。

・第6次総合計画では市民の知らないところで20年に期間が延びたというケースがあった。計画策定担当課との温度差があり、虚しさを感じるところがあった。次期計画では考慮していただきたい。

〈事務局〉・市には様々な計画や審議会が存在し、他の個別計画とリンクした目標数値を立てている。改定版の課題として、数値目標を立てておらず、客観的な評価ができないというご意見をいただいた。第3次では目標数値を設定していきたい。

〈委員〉・進捗状況調査票については資料1-1を集約したものを作成し、次回以降ご意見を頂戴したい。

〈委員〉・水切りネットの配布など実践していることもあるので、そういった点を実績としてアピールしてよいのではないか。

〈委員〉・No.8-12の庁内美化について、資料1-1では評価が廃止となっているが、資料1-2では検討となっているのはなぜか。

〈事務局〉・担当課から廃止との意見をいただいたが、環境課や庁内委員会で検討とすべきということになった。

(2) 第3次富士見市環境基本計画骨子(案)について

【配布資料】

- ・第3次富士見市環境基本計画骨子(案)
- ・富士見市第6次基本構想第1期基本計画概要版

資料に基づき第3次富士見市環境基本計画骨子（案）について事務局より説明。

《委員からの質問・意見》

〈事務局〉・骨子案は現計画における進捗状況の結果や他計画との整合を図ったものである。骨子案については施策の展開の方向性までを記載したものであり、各取組は素案で示していく。全体の構成、組み立てについてご審議いただきたい。

〈委員〉・第6次基本構想の概要を配布した趣旨はなにか。

〈事務局〉・前回の審議会にて、総合計画を知ったうえで環境基本計画を審議した方がよいとの意見を受けて、総合計画の概要を配布した。

〈委員〉・生物多様性地域戦略はこれまで検討となっていたが、骨子（案）では策定するとなっている。今回策定するとなれば、その表現に留意が必要である。位置づけの明確化が必要では無いか。

- ・18頁で代替フロン類を算定していないとあるが、エアコンの廃棄時には発生するため対策としては取り組んだものを反映した方が良い。
- ・どこで富士見市らしいものにするか、今の段階では見えてこない。目指すべき環境像で湧水に触れているのであれば、湧水を中心にして各施策に反映させ、湧水を横軸に入れることで富士見市らしい計画ができるのではないか。

〈委員〉・富士見市では子どもたちが入れるような湧水の水路はない。湧水を親水の間として整備してほしい。そういったものを計画に盛り込むなり、取組を進めていただきたい。

- ・アライグマの生息域・生息数が増えていると実感している。環境課の職員も忙しく、仕事を途中で切り上げて箱罟を仕掛けに行くことを考えると大変だと実感している。審議会に対策について議論、共有できないかと思っている。

〈委員〉・総合計画では基本構想、基本計画、実施計画で構成されている。環境は多岐にわたるので難しいと思うが、環境基本計画も総合計画の実施計画に準ずるものが策定されれば後日の効果検証が容易になると考える。

〈委員〉・総合計画概要版の17頁をみると河川のBOD（生物化学的酸素要求量）は目標が設定されている。最も大きなところでは緑地面積も目標がある。それを踏まえて環境基本計画にも目標を反映してほしい。

〈事務局〉・委員のご意見のとおり環境の分野は守備範囲が広い。各計画との整合を図りつつ、目標は立てていきたいと考えている。

4 その他

〈事務局〉・第3回審議会は10月5日午後2時から開催。内容は審議会の新たな任期となることから、市長より委嘱及び第3次富士見市環境基本計画素案の地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の審議を予定している。後日開催通知をお送りするのでご確認いただきたい。

審議会委員の在任期間の上限である 10 年間に渡り、委員を務められた須田委員及び木内委員よりご挨拶をいただいた。

5 閉会